

友の会 分館ギャラリートーク

没後30年 向井潤吉 心の交流記 民家を訪ね、描く楽しみ

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

世田谷美術館には、清川泰次記念ギャラリー、宮本三郎記念美術館と向井潤吉アトリエ館の分館があり、毎年、ギャラリートークを行っています。

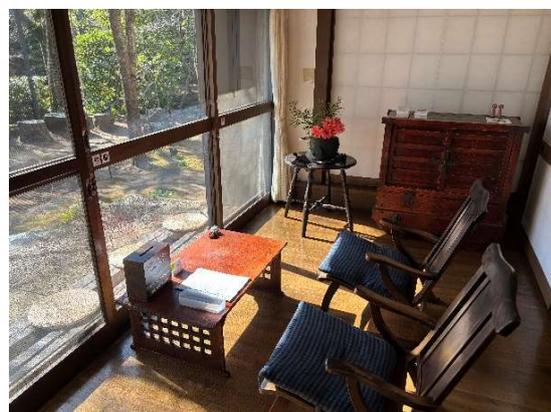
ここでは、2026年1月22日（木） 11:00から約1時間、本展を担当された世田谷美術館の池尻豪介学芸員からお話していただきましたギャラリートークを紹介します。

”民家の画家”と呼ばれた向井潤吉(1901-1995)の全国各地を巡り描いた油彩作品と、それにまつわる作者の思い出を綴った文章を取り合わせて展示され、初めて参加された会員も多く楽しいひとときを過ごすことができました。

次回の本館の展覧会は、向井潤吉が若かりし頃、ルーブル美術館で模写した多くの作品を展示するとのこと、民家の作品とはひと味違った感動を得られることを楽しみにしています。



区立駒沢中学校の近くです



向井こだわりのチェアで一息！